



平成 28 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所
代 表 者 名 代表取締役社長 田村 直樹
(コード番号 6768 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 0 3 - 3 9 7 8 - 2 0 3 1

関係会社株式評価損及び関係会社支援損（個別決算）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の個別決算において、関係会社株式評価損及び関係会社支援損を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 関係会社株式評価損及び関係会社支援損の内容

連結子会社タムラ・ヨーロッパ・リミテッドは、欧州景気減速により主力のインフラ関連大型トランスが延期になるなど利益率の高い特殊製品の売上が減少し、また売上の 3 割を占める中国関係会社からのドル建て仕入品がユーロ安に伴い原価高となり変動費比率を押し上げたことから業績が悪化いたしました。さらに英国生産をチェコ生産に移管し、英国工場で構造改革を実施し人員整理費用が発生し、また将来の工場賃借料を一括計上したことなどから債務超過状態となりました。

当社では同社に対し財務支援が必要と判断したことから、当社が保有する同社株式に關係会社株式評価損 161 百万円（全額評価損計上）を、さらに当社の同社に対する貸付金債権すべてを債権放棄し關係会社支援損 1,144 百万円（※）の合計 1,305 百万円を特別損失に計上いたします。

※關係会社支援損の金額は決算日のレートにより変動する可能性があります。

2. 今後の見通し

当該關係会社株式評価損及び關係会社支援損は、個別決算において計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

本内容は既に公表している連結決算予想に織り込み済みであり、現時点で予想の修正はありません。

なお、同社の業績は回復基調にありグループ全体での支援体制に取組み業績の改善に努めてまいります。

以 上